

# 「栗駒山砂防見学会」を開催しました

○開催日時：平成26年7月27日（日）

○実施場所：市野々原被災地展望広場、槻木平砂防堰堤  
祭時被災地展望広場、祭時大橋見学通路

○参加者等：一関市内在住の一般の方 13名

平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震により、一関市の磐井川上流域においては、山腹崩壊や河道閉塞（天然ダム）等の甚大な被害が発生しました。

岩手河川国道事務所・一関市は、一関地域の住民の皆様を対象に、一関地域で発生が危惧された大規模な土砂災害をはじめとする自然の脅威や、それらに対し地域の安全を支える砂防工事、そして、いざという時に災害から自らの身を守る重要性について学習することを目的として、「栗駒山砂防見学会」を開催（今年で3回目）しました。

当日は昨年度工事完了した「市野々原地区河道閉塞対策事業」や、現在工事が進められている「槻木平砂防堰堤」、災害遺構「祭時大橋」を見学して、災害対策等について学習しました。

参加者からは、「被災後一度も来ていなかったもので、とても良い体験が出来た」「二度と見学出来ない工事の状況を見学させて頂き、ありがとうございました」などの感想を頂き、とても有意義な見学会となりました。

本日見学した「槻木平砂防堰堤」は、年内の完成を目指して、鋭意工事中です。



真湯温泉センター駐車場で出発式



市野々原地区の磐井川付替水路の説明



市野々原地区の崩落箇所の説明



槻木平砂防堰堤の見学



砂防堰堤の説明を聞く参加者の皆様



全員で記念撮影



祭時被災地展望の丘



落橋した祭時大橋と、  
その向こうに見える槻木平砂防堰堤



祭時大橋見学通路



落橋した祭時大橋を見学



岩手・宮城内陸地震の被害の概要説明



真湯温泉センター駐車場で修了式